

第13回 日本ジオパーク全国大会 in 関東 参加レポート

洞爺湖有珠火山マイスター 荒町美紀

参加期間 2023年 10月28日～29日

場 所 銚子ジオパーク：千葉科学大学マリーナキャンパス

① 参加目的

全国各地のジオパーク関係者やガイドとの情報交換

ガイド研修会スタッフとして運営の手伝いのため

今回の全国大会会場は、中央会場を銚子ジオパーク サテライト会場をジオパーク秩父とし2会場に分かれて行われました。私は、中央会場（銚子ジオパーク）へ参加しました。

② 体験した内容

分科会④ 「ガイド研修会」(運営スタッフとして参加)

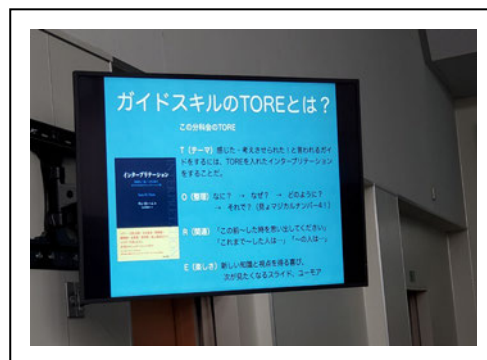
企画運営は、日本ジオツーリズム協会。

日本ジオツーリズム協会とは、ガイドとしてどうすればお客様を喜ばせる事が出来るかを常に問い続け、磨き続ける事が出来る全国各地のガイドが集まり、実践を踏まえた情報交換を行っている団体です。

ガイドに必要とされているインタープリテーションの中で、特に重要な4つの要素(TORE)の基礎について学びました。

参加人数は約120人。分科会としては中々大きな規模となりました。

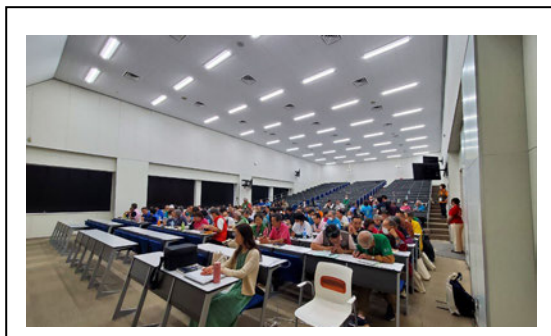
第一部は「インタープリテーション」という著書を日本語翻訳した山田菜緒子氏による講話。ガイドスキルのTOREとは、またインタープリテーションの方法などを、身近な例題を使いわかりやすく解説。約30分の講話でしたが、とても内容の濃い時間でした。



第2部は オンラインツアーを行ったメンバーが登壇しパネルディスカッションを行いました
大会前にオンラインツアーを行ったメンバー全員にアンケートを実施。

この結果の中から「インタープリテーション（TORE）を学んで変化したこと」や「実際のツアーでどのように生かされたか」をディスカッションしました。

参加者からは多くの質問も出て、インタープリテーションやTOREについて、理解を深めた人も多くいました。



口頭発表

北海道大学理学院の荒木藍さん

ジオパークの課題や火山マイスターについて約15分間の発表でした。

荒木さんは、洞爺湖有珠山ジオパークに何度も足を運び、フィールドのに入って見た事や聞いたこと、また文献なども使用して調査を行ったということでした。

15分間でしたがわかりやすくまとめられており、火山マイスターをしっかりと分析していて火山マイスターである私よりもマイスターの立ち位置を理解していると感じました。

さらに、第三者の目線の大切さを痛感した発表内容でした。



ポスター発表

全国各地のジオパークがパネルに活動内容をはり、その場所に見に来てくれた人に活動を紹介するコアタイム。

今年のポスター発表の会場で一番驚いたのは、中学生や高校生が多かった事でした。

地域の子供たちが、ジオパークに関する活動をしてその成果を一枚のポスターにまとめ、そこに来た大人たちに内容を紹介する。

自分で調べた内容を、紹介という形でアウトプットする事で、子供たちの中で理解が深まり郷土愛も生まれる素晴らしい活動だと思いました。

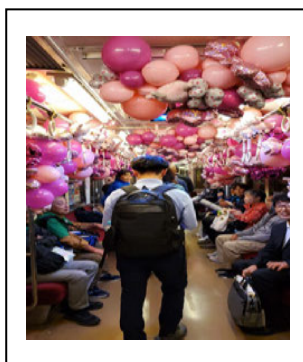
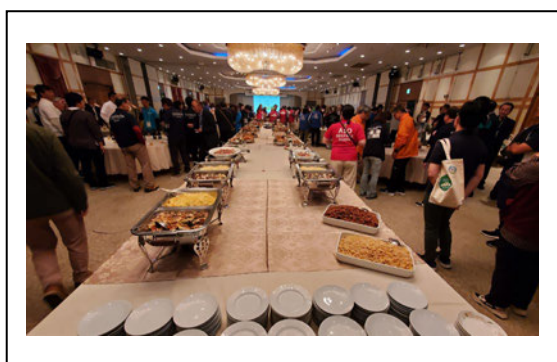
当ジオパークでも、中学生や高校生にこのような体験をさせる事は出来ないのか、改めて考えてみたいと思いました。



大交流会

銚子会場の参加者ほぼ全員が集まる大交流会では、全国各地のジオパーク関係者やガイドの皆さんと名刺交換ができる貴重な時間でもありました。

また他のジオパークのガイドさんとの情報交換や悩み相談など、とても充実した時間を過ごしました。帰りは、特別に装飾された銚子電鉄に乗り、最後まで楽しい交流会となりました。



③ 全体を通して

年々規模が大きくなっている全国大会。

普段、中々出会う事が出来ない全国各地のガイドさんとの交流や情報交換など、とても充実した時間を過ごしました。

残念なのは、当ジオパークからの参加者が少なかった事。

自分のジオパークや活動を全国の人に知ってもらえる素晴らしい機会なので、ぜひたくさんの人に参加していただければと思います。